

管理番号 61

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	過敏性肺炎の抗体測定とその有用性を調査する研究 (過敏性肺炎における環境中抗原に対する特異的 IgG 抗体の網羅的検査方法の確立と有用性の検討)
研究開発期間 (西暦)	2021 年 12 月～2026 年 10 月
研究機関名	東京医科歯科大学 呼吸器内科
研究責任者職氏名	助教 白井 剛

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

過敏性肺炎は空気中に浮かぶカビや細菌、たんぱく質や化学物質などを繰り返し吸い込むことによるアレルギー反応で起こる病気です。繰り返し吸い込むことで徐々に病気が進行していきますが、抗原から遠ざかることで進行を抑えられることが期待されます。アレルギーにおいては抗原に対して体内で作られる抗体を調べる方法がありますが、過敏性肺炎における抗体検査で特定できる抗原はごくわずかであるのが現状です。

そこでこの研究では過敏性肺炎の原因抗原として頻度の高いカビや細菌について診断に役立つ抗体検査の確立を目的とします。過敏性肺炎の原因となる抗原には様々な物質がありますが、中でもカビや細菌が多いということが知られています。私たちは最近の研究で鳥が原因となる過敏性肺炎における抗体検査方法を確立することに成功しており、それを応用することでカビや細菌に対する抗体検査の確立を目指します。

カビや細菌が原因となる過敏性肺炎の患者さんの血液中で上昇しており、それ以外が原因の過敏性肺炎やそのほかの間質性肺炎の患者さん、または健康な方では上昇がみられない抗体を特定し、その性能を調べることで過敏性肺炎の診断に役立つ検査の確立を目的とします。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：検査残余血液（血清）

献血血液の情報：なし

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社 北村 薫

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 献血血液の利用を開始する予定日

2024年6月1日

5 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

東京医科歯科大学附属病院・呼吸器内科を受診されている過敏性肺炎の患者さんや、その他の間質性肺炎の患者さん、献血者を含む健常者の方を対象とします。過敏性肺炎の患者さんの血液中には原因物質に反応する抗体が産生されている可能性があり、抗体の存在を調べることで抗原を特定することができると考えられています。ところが通常診療で測定できる抗体の種類はごくわずかです。そこで本研究では、利用できる抗体を見つけ出し、またその有効性を調べることを目的とします。

血液中に含まれる過敏性肺炎の原因となるカビ及び細菌の抗原タンパクに対する抗体（抗原特異的 IgG 抗体）の量を、イムノキャップ法という測定技術を利用して測定します。献血血液については健常者血液として、血液中の抗体の有無や値を過敏性肺炎の患者さんの血液と比較するために用います。全ての血液検体は個人が特定できない様に匿名化した状態でサーモフィッシャーダイアグノスティック株式会社に送付し測定を行います。そのため測定結果につきまして各個人に結果をお伝えすることはありません。

- 6 献血血液の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 7 上記 6 を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	
------	--

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京医科歯科大学 呼吸器内科
担当者	白井 剛
電話	03-5803-5954
Mail	tshipulm@tmd.ac.jp